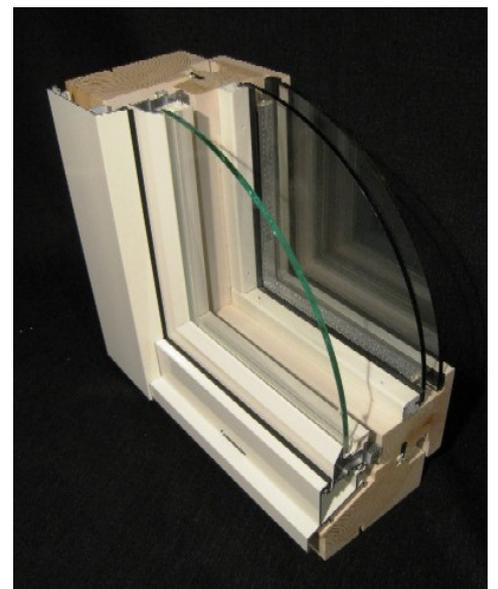




住宅先進国スウェーデンで トップレベルを誇る窓。

窓は、住宅の外壁や屋根、床に比べて何倍も熱を通しやすく、住宅全体に対しての熱損失が、冬の暖房時で40%、夏の冷房時で60%にもなるといわれています。断熱性能の高い省エネルギー住宅では、窓の性能はそのまま住宅の性能に直結するといっても過言ではありません。「外側アルミ2+1=3層ガラス木製窓」は、日本の省エネ基準をはるかに超えた、熱貫流率(U値): 1.0 w/m²k (0.9 w/m²k)、3層ガラスのスウェーデンでトップレベルの木製窓です。



	熱貫流率(w/m ² k)の目安
アルミサッシ・単板ガラス	6.5
アルミサッシ・ペアガラス(空気層 12mm)	4.3
断熱アルミサッシ・ペアガラス(空気層 12mm)	3.3
樹脂サッシ・Low-E ペアガラス(空気層 12mm)	2.8
樹脂サッシ・Low-E ペアガラス(ガス層 12mm)	1.9
外側アルミ 2+1=3層ガラス木製窓	1.0

日本の省エネ基準・最高等級: 2.33 w/m²k 以下
熱貫流率: 値が小さいほど熱損失が少ない

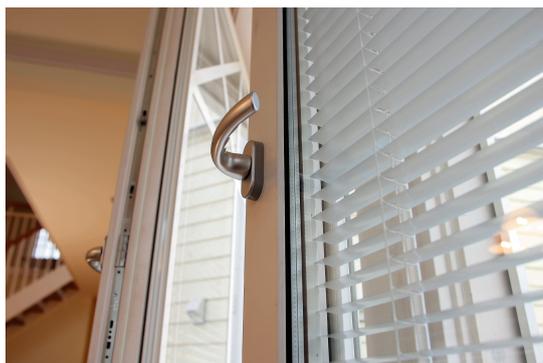


外側アルミ被覆

木製窓の外側を耐久性の高いアルミで被覆することで(アルミクラッド)、再塗装をする必要はありません。台風などの暴雨にも強い構造をしています。木部には、スウェーデン北部産パインを使用。木目が美しく形状安定性に優れた一級品の材質です。

ブラインド内蔵

窓ガラス内部にブラインドが内蔵されています。ブラインドの上げ下げや羽根の角度によって日射を遮ったり、光量を調整したりできます。視線も遮れるので、カーテンも不要になります。ブラインド自体はガラス間にあるため、埃や汚れがほとんど付着しません。



2+1=3 層ガラス

一般的な3層ガラス(左)と違って、**複層ガラスと単層ガラスとからなる窓(右)**で、ガラス間にブラインドができます。



ブラインドによる遮熱効果

高断熱高気密住宅で夏場に室内が異常に暑くなってしまうのは、ガラス面から侵入する**日射熱が原因**です。ブラインドは室内側でなく、ガラス間に内蔵されているため、効果的に**日射熱を外へ排出**できる特殊な構造となっています。



実用性の高い開閉方式「ドレーキップ」

レバーハンドルで、窓を開けたい時には「**内開き**」、ちょっと換気しておきたい時は「**内倒し固定**」にできます。「内開き」は窓の掃除に便利で、2階でも安全で簡単に、窓ガラスをきれいに拭き取ることができます。



「内開き」状態

「内倒し固定」状態

常時開放できる窓

ドレーキップの「内開き固定」であれば、春や秋など快適な外気を取り入れるのに**安心して常時開放**しておけます。多少の雨であれば、水が室内へ入り込むことはありません。レバーハンドルも外部からは操作できないので窓は開けられません。



取り外し可能なブラインド

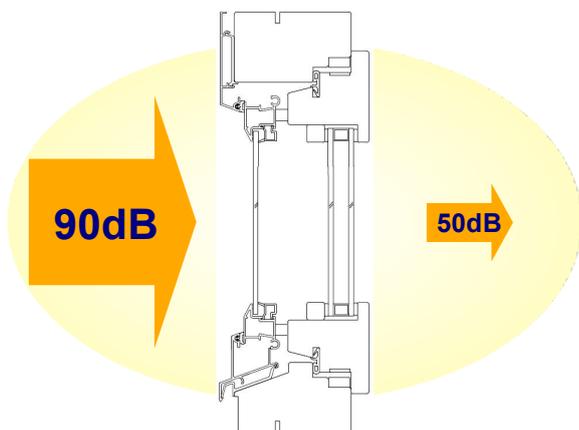
2+1=3層ガラスに内蔵されたブラインドは取り外し可能です。窓扉側面にあるロックを解除すると、**単層ガラスのアルミサッシが複層ガラスの木製サッシから分離**され、内部のガラス面やブラインドの掃除、ブラインド本体の交換までもできる構造です。





高い防音性能

気密性の高い重厚な木製枠と 3 層ガラスからなる窓の防音性能は、40dB(デシベル)程度と、防音窓クラスです。例えば、パチンコ店内(90dB)を、図書館の静かな室内(50dB)にまで抑えてしまう程の性能なので、室内は驚くほど静かな住環境になります。



Made in Sweden

ブラインドが内蔵された「外側アルミ 2+1=3 層ガラス木製窓」は、外開きのテラスドアもあります。窓やドアは、スウェーデン本国の厳しい基準に従ってスウェーデンの工場で作製されています。受注生産と海上輸送によって納期はかかっていますが、常に最新の仕様で作られた製品をお届けしています。

